

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、腎臓内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、研究終了までに下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**【研究課題名】**

ステロイド依存性頻回再発型微小変化型ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ治療後の長期経過についての検討

**【研究対象者】**

2008年3月～2013年10月までの間に、腎臓内科にて微小変化型ネフローゼ症候群と診断されリツキサン治療を受けられた方

**【利用している診療情報等の項目】**

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院年月、既往歴、併存疾患名、アレルギー歴、アレルギー歴、検査結果（尿検査、血液検査、腎病理組織結果、骨密度）、治療経過等

**【利用の目的】** （遺伝子解析研究：無）

難治性ネフローゼ症候群に対しリツキシマブの効能効果が承認されましたが、長期的な治療効果や副作用についてはまだ報告が少ないのが現状です。そこで今回の研究では、リツキサン治療後の長期経過について解明することを目的としています。

**【利用期間】** 倫理委員会承認後より2021年3月までの間（予定）

---

**【この研究での診療情報等の取扱い】**

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

**【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】**

研究責任者：東京女子医科大学 腎臓内科 教授 新田孝作

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 腎臓内科 中谷（岩渕）裕子

電話：03-3353-8111（内線 33331）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-3356-0293 Eメール：yukoiwa@twmu.ac.jp